合格のためのスケジューリング

- 第1 竹下合格システムにおける3つの講座とその目的
- 1. 基礎・実力養成講座
- 2. ブリッジ講座
- 3. 竹下合格講座
- 第2 受験までのペース配分
- 第1期 スタートから2012年8月まで

主要科目・・・民法・不動産登記法の基礎を徹底的に理解する。

第2期 2012年9月上旬から12月末まで

主要科目・・・民法・不動産登記法の復習を繰り返し,不動産登記法の記述式 対策を具体的にとると共に,商法・商業登記法の主要部分に関する 事項を理解する。

マイナー科目・・・マイナー科目の中の半分くらい(例えば,民事訴訟法等) を履修する。

第3期 2013年1月から3月末まで

主要科目・・・記述式対策を含めた民法・不動産登記法の復習を繰り返し、 商法・商業登記法について株式会社以外の分野を含めて理解を深 めるとともに、商業登記法の記述式対策をとる。

マイナー科目・・・すべてのマイナー科目の履修を終了させる。

第4期 2011年4月から本試験まで

全科目が同等のレベルになるよう繰り返し復習する。

- 第3 講義の進め方,学習方法等
- 1. 講義の方針
- 2. 疑問点が出た場合の対処方法
- 3. 情報の集約化について
- 4. 過去問を通して基本書等を読む
- 5. 自分に最も心地よい方法論を確立せよ
- 6. 安易に結果を求めない。スタート時においては細部にこだわらない。